

放送日 平成28年4月11日（月）
担当者 市長 上野 正三

おはようございます。市長の上野正三です。

平成28年度がスタートし10日余りが過ぎました。新しい仕事や、新しい仲間、そして新しい立場など、様々な変化があるかと思いますが、今年度もよろしくお願いいたします。

本日が第1回目となります、この「朝のスピーチ」は本市の行財政改革の取り組みの一環として取り組むものであり、「めざす都市像(総合計画)」、「めざす職員像(人材育成基本方針)」などを全職員が共有し、一丸となって仕事に取り組んでいくため、特別職や管理職が、それぞれの思いを自らの言葉で語るものであります。職員の皆さんにおかれましては、この取り組みを通じ、各々が知恵を出し、また、力を合わせて本市の「まちづくり」に取り組んでいただければと思っております。

さて、新年度予算におきましては、多くの人が夢や希望をもって、北広島市に住み、「住み続けたい」と思う、まちを目指し、定住人口の増加・地域経済の活性化・安全で安心なまちづくりを重点施策としたところであります。

また、今年度は平成8年9月の市制施行から20周年という節目の年に当たります。これまで、順調な人口増加とともに、まちのシンボルとなる施設整備や市民の皆様が安全・安心して暮らせるようなまちづくりを進めてまいりました。

現在、全国的に進展する人口減少や出生率の低下は、税収の確保、地域コミュニティの維持など、地方自治体に与える影響は大きく、重要な課題であります。

このことから、市民の皆様とともに策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少問題など様々な課題に取り組むとともに、総合計画における「まちづくり」のテーマであります「自然と創造の調和した豊かな都市」を実現するため、引き続き「定住人口の増加」「地域経済の活性化」「安全で安心なまちづくり」を重点的な施策として取り組んでまいります。

市職員の皆さんには、前向きな取り組みと、市民の目線にたった行政サービス・市民サービスが必要であります。皆さんの活躍、そして建設的な意見・提案を期待しております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月12日（火）
担当者 副市長 道塚 美彦

おはようございます。副市長の道塚です。

17名の新人職員が入庁され、新年度がスタートしましたが、今年度も宜しくお願いを致します。

さて、少子高齢化や人口減少時代を迎え、それぞれの市町村が競いながら、また知恵を出しながら、特色あるまちづくりを進めることが求められております。

そういう中で、北広島市においては、これまで職員がコツコツと努力してきたことが、少しずつではありますが、花開いて来ているのではないかと感じています。

市内の大型商業施設には、年間1,000万人を遥かに超える来店者があり、また多くの企業が進出をするなど、北広島市への関心の高まりや勢いを感じられるところであります。

これからも、まちの発展は勿論大事ですけれども、北広島市に住んでいる方々の市民生活や、この町で長く事業を営んでいる方々に、改めてしっかりと目を向け、着実に日々の業務を行うことが、大切であると思います。

新年度を迎え、職員一人ひとりが、もう一度、何が課題で、何が問題なのかをよく考え、客観的に捉えながら市民に寄り添った仕事をして頂きたいと思えます。

昨日から新たな取組みとして「朝のスピーチ」が行われていますが、管理職の考えや今進められている仕事の内容など、普段はあまり聞けないことを聞けるいい機会でもあり、有意義な取組みであると思います。

このような取組みを通じて、今、北広島市がどのような視点で、まちづくりを進めようとしているのかを確認しながら、職員がそれぞれの目標に向かって、活躍することを期待しています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月13日（水）
担当者 教育長 吉田 孝志

おはようございます。教育長の吉田孝志です。

北広島市は「大志をいなくまち」を掲げていますことから、教育分野でも「志を育む教育」を大テーマに位置付けています。各小中学校では、「きたひろ夢ノート」を活用し、学年や発達段階に応じた夢や目標を考えさせたり、夢や目標を実現するために必要な資質や能力、考え方などを指導したりしています。これからの未来を担う子ども達が、ふるさと意識の中で、夢や希望を持ち、いきいきと学び続けることができるよう、今後もキャリア教育の充実に努めてまいりたいと考えております。

また、子ども達に「知・徳・体のバランス」がとれた成長・発達を保障していくために、改めて、義務教育の9年間で継続的、連続的な教育期間であることを再確認するとともに、まちづくりとの関連にも意を用いながら、「小中連携・一貫教育」を推し進めてまいりたいと考えているところであります。

公務を扇に例えますと、仕事内容や事業が骨柱、その骨柱を束ねているのが要。扇は小さな要によってその形を保っていますが、要を外せばバラバラになってしまいます。公務における要は、やはり「誠実」ではないかと考えています。子ども達の、そして北広島市の明るい未来のために、政策、施策の具現化に向けて誠心誠意の努力を続けてまいる所存であります。「教育は未来への先行投資」と言われます。引き続き、市民の皆様並びに職員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員の皆さんが心にいなく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月14日(木)
担当者 企画財政部長 中屋 直

おはようございます。企画財政部長の中屋です。

今日からは、管理職が順番で朝のスピーチを行ってまいりますので、よろしく
お願いいたします。

私は、大曲に住んで5年になります。毎朝、柏葉台団地から輪厚を経由して、
東部中学校行きのバス通勤をしています。その途中では、羊ヶ丘通や輪厚工業団
地の進捗状況や竹山の景色を見ながら、そして季節の移り変わりを感じながらの
30分のバスの旅です。

バス通勤はまだ1年ですが、悪天候の時、特に冬の吹雪での車の運転の心配も
なく、慣れてしまうといいものです。皆さんも公共交通を使って通勤してみませ
んか。でも、この7時半の便に乗り遅れると、同じルートでの次の便は午後6時
までありません。輪厚経由、道都大学経由も含めて、大曲地区から市役所前まで
のバスの便は、市役所の開庁時間内には1本もありません。「市役所に来るには
本当に不便です。」こんな市民の声に答えるべく、今年度から本市にとって望ま
しい公共交通網の形成に向けた計画づくりが「まち・ひと・しごと創生総合戦略」
の取組みとしてスタートします。この総合戦略では、平成31年度までの計画期
間中、36の事業を予定しており、このうち「北広島団地フェニックスプロジェ
クト」をはじめ、27の事業が今年度から始まります。

北広島市が将来にわたって自立したまちづくりを進めるためには、危機感を持
って積極的に人口減少対策に取り組む必要があります。そのためにも、職員が一
丸となって、全庁的に取り組んでいかなければなりません。職員の皆さんのご協
力を引き続き、よろしくお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月15日（金）

担当者 総務部長 浜田 薫

おはようございます。総務部長の浜田です。

昨年、「人材育成基本方針」を改定し、人事評価制度も今年度から本格導入となります。人材育成基本方針では、「市民への貢献を最優先し、強い使命感を持ち、課題にチャレンジする職員」を求められる職員像として決めました。人口減少が進む中、地方公共団体は、すでに競争の時代に突入しています。勝負の分かれ目は、オリジナリティあふれる発想や、職員のやる気だと思います。職員一人ひとりが目標を持って生き生きと仕事に取り組んだとき、他の市町村に負けない組織となるでしょう。そして、市民の皆さんにも評価されると思います。どうか、高いモチベーションを持って、チャレンジする職員になっていただきたいと思ます。

昨年度実施した職員提案制度では職員の皆さんから45件の提案をいただきました。今年度は有効な提案について、その実現に取り組んでまいります。

昨晚、九州地方で大規模な地震が発生し、今なお多くの方が避難している状況ですが、私は、防災対策をさらに充実してまいりたいと考えています。地震災害や風水害時に職員の皆さんが迅速かつ的確に行動できるよう「災害時職員初動マニュアル」、「事前行動防災計画（タイムライン）」、「職員災害時参集マニュアルポケット版」を昨年度検討しました。4月から職員の皆さんにお示しし、改良を加えながら、その浸透を図ってまいりたいと考えております。

新庁舎建設は順調に進んでいます。今年度は引越しに向けての準備を進めるとともに、新たにファイリングシステムを導入し、文書管理方法を変えてまいります。

今年は市制が施行されてから20年を迎えます。9月3日（土）の記念式典をメインに、10月1日、2日の「NHKのど自慢」等、様々な事業が開催されます。運営の協力や、職員の皆さんの積極的な参加をお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月18日（月）
担当者 市民環境部長 塚崎 俊典

おはようございます。市民環境長の塚崎俊典です。

始めに、14日から熊本から大分に至る地方で起きている大地震。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、行方不明の方々が一刻も早く見つかりますことを心から願わずにはられません。

余震が早く収束し、復興へと進んでいくことを願ってやみません。

私が担当している市民環境部は、名前のおり市民の皆様との直接面談やお話をすることが多い部署です。

市民課の戸籍や住民票等を扱う窓口は、4月は転入の時期でもありますので、初めて北広島市に来た方も多くいらっしゃいます。

4年前のある会合の席で、市民の方からこのような話がありました。

こちらに来て初めて転入の届出等をした際、手続きをしてくれた職員の方の対応がとても親切で、子育てに係る届出などもスムーズに終わることができ、この町で暮らしていくことへの不安が軽くなる思いがしたとのことでした。

それから私は、年度初めの市民環境部の歓迎会の席で職員の皆さんにお願いしていることがあります。それは、初めて北広島市へ転入される方にとっては、あなたの対応が「まちの印象」となっていくことがあることを忘れないでほしいということです。

窓口で対応している皆さんにとっては、その日に処理をした数十人のうちの一人かもしれませんが、窓口に来られた方にとっては、今対応しているあなたが「全て」なのです。そのことを心の片隅に置いて、窓口での対応をしていただきたいと思います。

このことは、何も市民課の窓口に限られたことではありません。市のどの窓口でも同じですよ。

さあ、今週も今日から始まりました。まずは、気持ちの良い挨拶で来庁された皆様をお迎えいたしましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月19日（火）
担当者 保健福祉部長 福島 政則

おはようございます。保健福祉部長の福島政則です。

まず初めに、熊本地方を震源とする地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。また、被災された方々に対して、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く地震が収まり、救出、復旧が進みますことをお祈り申し上げます。

本日は、保健福祉部の紹介をさせていただきます。

保健福祉部は、福祉課、高齢者支援課、健康推進課、保険年金課と子育て支援室の保育課、児童家庭課のほか出先機関としてこども発達支援センター、地域子育て支援センター、保育園3園、児童センター3施設、学童クラブ12施設で組織しています。所属する職員は、再任用、任期付き、非常勤、臨時職員を加えますと300人を超え、市役所で最も大きな組織ということになります。

保健福祉部は、乳幼児から高齢者の方まで、広く市民の皆様の健康や福祉に係る事務事業を担当しています。

具体的には、生活困窮者、子ども、障がい者、高齢者とその家族に対する支援、国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、子ども、重度心身障がい者などの医療費助成、国民年金、健康づくり、母子健康推進、予防接種、急病医療、各種検診などを行っています。

本年度の新しい取組としましては、4月15日から受付を開始しました高齢者向け給付金、市立保育園児、小学生のフッ化物洗口、生活困窮世帯の子どもの学習支援、日本脳炎予防接種、妊婦健康診査通院支援、特定不妊治療助成、ファミリーサポートセンター利用無料券の配布、成年後見センターの開設などを実施してまいります。

保健福祉部は、市民の皆様が安心して暮らすことができ、住み続けたいと実感していただけるまちづくりに向け、各種事務事業に取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月20日(水)

担当者 建設部長 駒形 智

おはようございます。今年度より建設部長を勤めさせていただいております駒形です。

まず始めに、この度の熊本県熊本地方を震源とした地震で亡くなれた方々のご冥福と、行方不明になられている方々のご無事をお祈りすると共に、被災された方々に対しましてお見舞い申し上げます。そして1日も早い復興をお祈り申し上げます。

建設部は庶務課、都市整備課、建築課、土木事務所の4つの部署で構成されています。市民の皆様を生活を支える道路や橋梁、公園、市営住宅など、市内の社会基盤の整備やそれら施設の維持管理を行っております。

また、国や北海道が当市において整備を進めております建設事業に係る連絡調整などの業務も行っております。そして市民の皆様には、毎年、緑化推進事業における「花いっぱい運動」に取り組んでいただき、美しい街並みの形成にご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

私はこれらの業務を円滑に進めるためには、部内外での「報告・連絡・相談」の励行による情報の共有化が必要不可欠であると考えているところであります。

そして、これらを励行することにより市民の皆様が安心して安全に暮らしていただき、「住んで良かった」、これからも「住み続けたい」と思ってもらえると共に市外の皆様には「このまちに住んでみたい」と思ってもらえるような北広島市を目指して行きたいと思っております。そして常に市民生活を支えているという自覚と責任を持って建設部の職員が一丸となって事務事業の執行に勤めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

「緑の募金でふせごう地球温暖化」をスローガンに今年も4月15日から6月30日までの期間で緑の募金運動を行っております。市長にもご参加いただき今週23日土曜日10時より北広島駅周辺において募金活動を行います。市民の皆様ならびに職員の皆様のご協力をお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月21日(木)

担当者 経済部長 藤木 幹久

おはようございます。経済部長の藤木です。

このたびの熊本地震によって亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈りしますとともに、被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。また、被災地、そして避難所は、たいへんな状況が続いています。一日も早い復旧、そして普通の生活が戻りますよう、お祈り申し上げます。

今日は、今年度に入って、気持ちをあらためて、意識しながら取り組み始めたこと、自分の心構え、小さな決意についてお話したいと思います。それは、大きなことでも特別なことでもありません。「挨拶」についてです。

今、バス通勤をしています。同じバス通勤をしている職員のある方が、「毎朝バス停でバス待ちをしている人に挨拶をしている。」と言います。いいことだなと思いました。そのバス停の雰囲気は想像できます。この話を聞き、4月に入り、自分も実行してみることにしました。まずは、バス停で先に並んでいる人、そして自分の次に並ぶ人に挨拶を始めています。また、朝、バス停までの途中で会う人にも挨拶を心がけています。

挨拶は自分から先にすることに大きな意味を持っていると思います。相手から挨拶されて、返すのは意外と簡単なことに気づきます。その糸口を相手が作ってくれているからです。そして自分からの挨拶は勇気が必要なことにも気づきます。自分が始めたことは、相手にとって迷惑なこと？自己満足なこと？など色々と考えてしまいましたが、挨拶の大切さは誰もが分かっていること。難しく考えるのはやめて、まずは始めてみよう。相手から挨拶が返ってこなくてもいい。苦痛に感じるのではなく、楽しんでやろうと思いつつ、続けています。挨拶をたくさん交わす毎日が送れたら、明るい人生が送れるのではないかと思います。バス停以外でも、色々な場面で、自分から挨拶を大切にすることをもち、その姿勢が伝えられ、少しでもその気持ちを感じてもらえればと思っています。

挨拶がつながり、広がっていけば、職場も、地域も、そして「まち」も、変わっていくのではないかと。挨拶で自分を変え、周りも変わり、何か素晴らしいことが生まれていくのではないかと思ひ、楽しみにしながら続けていこうと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月22日（金）
担当者 水道部長 藤嶋 亮典

おはようございます。水道部長の藤嶋です。

『平成28年熊本地震』に見舞われ、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、甚大な被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

水道部は、市民の皆様が安全で安心して生活できるライフライン施設の維持管理に努めておりますので、本日は、災害時の心構えについて述べさせていただきます。

平成23年の『東日本大震災』では、『備えていたことしか、役には立たなかった。』『備えていただけでは、十分でなかった。』と教訓を残しております。

台風や大雪などは予報があり、ある程度準備できますが、地震や突発的な事故等は、予兆も無く発生するため、常日頃より、備えておく必要があります。

私たち公務員の仕事は、主としてボトムアップを基本とする意思決定によってなされておりますが、大規模災害では、そのシステムを一瞬にして切り替えて、現場指揮官の決断で対応する場面が多くなります。

いざという時に、決断力不足による不作為、連絡不足による情報の混乱などが無いよう、平時から災害時に自分の果たすべき役割について備えておく必要があります。

『求められてから対応する』のでは遅すぎます。『先手先手の対応』が必要となります。大規模災害では情報が上がってこないことも貴重な情報であり、そのような箇所ほど大きな被害を受けているケースが多いことに留意しながら、また、被災の状況を地図や文言としてどのように表現するかを整理しておかなければ、対応についての的確な判断ができないこととなります。

『災害は忘れた頃にやって来る。心の準備と対応策は大丈夫ですか？』

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月25日（月）
担当者 会計室長 齊藤 秀樹

おはようございます。会計室長の齊藤です。

私は昨年1年間、経済部におりましたが、大変印象に残ったことがあります。それは、様々なイベントなどが行われ、かつては考えられないくらい多くの人が、訪れるようになったということです。

以前は、北広島にはイベントが少ない、賑わいが無い、大きな商業施設がない、などの声を耳にしました。

しかし、去年のふるさと祭りでは、夜には歩くこともままならない状況となり、多くの人々が集まるようになったことに、私は感銘を受けました。その他のイベントでも大変な賑わいを見せており、そして、市内の大型商業施設も国内外から多くの人々が訪れています。本市に足りなかったピースが確実に埋まりつつあると感じました。

これも、市長の強い思いと、これまで係わった皆さんの創意工夫や地道な取り組みの積み重ね、そしてお手伝いいただいた方々のおかげと思います。課題は尽きませんが、さらに交流人口を増やし魅力的なまちにするため、職員全員で知恵を絞っていきましょう。そして、皆さんも是非イベントに足を運んでいただきたいと思います。

4月から私は、会計室で仕事をしています。

会計室では政策的な事業を持っておりませんが、皆さんの業務を支えるべく、物品の購入、工事などの入札や契約、審査及び検査、収入金・基金の管理運用や支払いなどを行っています。そして、会計室から職員の皆さんへのお願いです。工事や委託、物品購入については、計画的な発注をお願いします。また、契約規則や運用方針、契約事務の手引きなどをよく確認するとともに、チェックリストを有効に活用していただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月26日(火)
担当者 教育部長 水口 真

おはようございます。教育部長の水口真です。

私は、北広島団地地区に住んでいます。通勤は、徒歩で通勤しています。4月は、黄色い帽子を被った双葉小学校の児童、制服とジャージが少し大きめな広葉中学校の生徒とすれ違います。小学1年生に「おはよう」と声をかけると、困ったようにうつむき、小走りになりながら挨拶を返します。4日、5日と挨拶を続けると、子供たちから挨拶をするようになります。子供たちが私に、心を開き、子供たちにとって挨拶をしても大丈夫な人となったことがとてもうれしく、やはりコツはニッコリ笑顔かなあと考えています。地域でも職場でも挨拶の言葉をかけやすい大人・管理職でありたいと思います。

さて、教育部は、学校教育においては、学校教育推進方針のもと、児童生徒一人ひとりが生きる力を身に付けるとともに、夢や希望を持って、社会の中で自立するよう志を育む教育に努めます。また、社会教育においては、社会教育の推進方針のもと、市民一人ひとりが生きがいや、やりがいを持って生涯学習活動に取り組めるよう、各分野の施策展開に努めます。

本年度の取組みとしましては、小中一貫教育の推進、学校給食費の公会計化、家庭教育支援の充実などを実施いたします。仕事は、着手半分と言います。なかなか行動に踏み切れないことが多い中、実際に着手したら、仕事は半分終わったも同然。こうした経験が皆さんにもあるのではないのでしょうか。子供たちが、そして地域の皆さんが安心して、教育を受け、生活ができるよう、早めの事業着手を心がけていきます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月27日（水）
担当者 監査委員事務局長 工藤 重幸

おはようございます。監査委員事務局長の工藤重幸です。

監査委員事務局は、市長部局とは別な組織になっておりまして、事務局職員の任命権者は代表監査委員です。

皆さんの中には監査委員がどういうことを行っているのか、あまりご存知ではない方もいらっしゃると思いますのでその一端をご紹介します。

監査委員は、年間を通して様々な監査、検査、審査、実査などを行っています。毎月例日を定めて現金の出納事務とその保管状況に関する例月出納検査、補助金、交付金及び指定管理者などへの支出に関する財政援助団体等監査、市長から審査に付された一般会計・特別会計及び企業会計などの決算審査並びに財政健全化判断比率等の審査、市の全部局を対象とした財務事務の執行及び経営に係る事業管理に関する定例監査などを行っています。

皆さんは、市民生活には欠かせない様々な行政サービスの需要に応え日々仕事をされていることと思います。

その仕事には必ず何らかの形で予算の執行が伴っています。ご存知の通り予算は「市民などから預かったお金で市民のために使われるもの」です。・・・公金です。

個人の財布のお金と違って、公金の出し入れには様々な規則や規程などルールがあり一定の事務手続きを必要とします。

監査は違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて実施し、市の行政の適法性や妥当性などの保障を期するものとしています。

このぐらいいいだろう・・・ではなく・・・このぐらいはしなければという発想を持って仕事に取り組みましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年4月28日(木)
担当者 議会事務局長 仲野 邦廣

おはようございます。議会事務局長の仲野です。

本日は、市議会と議会事務局について紹介させていただきます。北広島市議会は、市民の皆様が代表として選んだ22人の議員で構成されています。市議会は、市長から提出された予算や条例案などの議案を審議して決定し、市政が適正に運営されているかを監視・評価する役割を持っています。また、市長は市議会の決定した予算や条例に沿って、市政を進めていく役割をもっています。このような役割分担から、市議会を意思決定機関あるいは議決機関と呼び、一方、市長等は執行機関と呼ばれています。議決機関としての市議会と市長等の執行機関は、皆様の信任を基盤として対等の立場に立ち、お互いにけん制し、均衡を図り議論しあいながら、市政の発展と市民の福祉向上のための取り組みを推進しています。また、市議会には毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会と必要に応じて開く臨時会がありますが、これらの日程のほかに各議員が分野ごとに専門的にかつ詳細に審議、調査する機関として3つの常任委員会とその他2つの委員会を設置し、それぞれ活動を行い、議会側から執行機関へ積極的に政策提言を行っています。さらに特定の課題が生じた時には、新たに委員会や協議会を設置して議論を行い、閉会中にも活動を行っています。

議会事務局は、市議会の庶務的事務や議長及び議員を補助する組織として、本会議などの運営や議会活動に必要な調査、会議録の作成などを行っているところです。

いよいよ明日からゴールデンウィークが始まります。家族で計画を立て旅行に行ったり、実家へ帰省したりすることもあると思います。事故などには十分気をつけてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。